

令和6年1月4日

令和5年度香川大学瀬戸内圏研究センターシンポジウム開催について

瀬戸内海が抱える様々な環境問題に歯止めがかからず、環境保全・修復は重要かつ緊急の課題となっています。

本シンポジウムでは、まず基調講演として、福島原発事故から10年間の魚類の放射性セシウム濃度などについての研究成果をまとめた書籍を出版された水産学・海洋学がご専門の帰山秀樹博士（水産研究教育機構）にご講演いただきます。現在、瀬戸内海で放射能汚染は起きてはいませんが、放射能に限らず物質がどのように魚類に蓄積し、除去されていくのかを知ることは、海洋生態系を健全に保つうえで大変重要です。

その後、本センターで現在実施している三つのプロジェクト研究やその成果を報告します。参加くださる皆様より、様々な立場からのご意見をいただき、意見交換したいと思います。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【日 時】 令和6年1月30日(火)13:30~16:55

【会 場】 e-とぴあ・かがわ BB スクエア

(香川県高松市サンポート 2-1 高松シンボルタワータワー棟 5階(4階入口))

【開催方法】 現地参加(定員 25名)

※感染症等の状況次第で開催方法の変更等の措置をとる場合もあります。

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

【主催】 香川大学瀬戸内圏研究センター

【対象者】 瀬戸内海の「環境・資源研究」と「地域産業振興」に興味のある方

【プログラム】 別紙のとおり

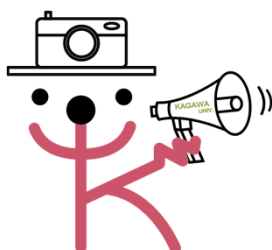
【申込方法】 応募フォームによりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/7x5JtgU82a>



※ご入力いただく個人情報は、瀬戸内圏研究センターが実施する講演会、シンポジウム等の案内に利用させていただくことがございます。

【申込期限】 令和6年1月23日(火)



➤ お問い合わせ先

香川大学 学術部研究協力課 森岡

TEL : 087-832-1317 FAX : 087-832-1319

E-mail : kenkyust-h@kagawa-u.ac.jp

令和5年度

香川大学

瀬戸内圏研究センター シンポジウム

参加費
無料

香川大学瀬戸内圏研究センターでは、令和4年度より瀬戸内海の「環境・資源研究」と「地域産業振興」に特化した研究活動を行うことになり、新たなプロジェクト研究を始動させました。

本シンポジウムでは、まず基調講演として、福島原発事故から10年間の魚類の放射性セシウム濃度などについての研究成果をまとめた書籍を出版された水産学・海洋学が専門の帰山秀樹博士(水産研究教育機構)にご講演いただきます。現在、瀬戸内海で放射能汚染は起きてはいませんが、放射能に限らず物質がどのように魚類に蓄積し、除去されていくのかを知ることは、海洋生態系を健全に保つうえで大変重要です。また、本センターで現在実施しているプロジェクト研究の成果を報告します。これまでの研究内容や成果について様々な立場からの忌憚のないご意見をいただき、私たちは今後さらに瀬戸内圏地域に根差した研究を進め、貢献して参りたいと思います。

令和6年

1月30日(火)
13:30 ~ 16:55

会場

e-とぴあ・かがわ BBスクエア

(香川県高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー
タワー棟5階(4階入口))

<https://www.e-topia-kagawa.jp/what/>



主催

香川大学瀬戸内圏研究センター

開催方法

現地参加(50名程度を予定)

申込方法

応募フォームにより
お申し込みください

<https://forms.office.com/r/7x5JtgU82a>

*ご入力いただく個人情報は、瀬戸内圏研究センターが実施する講演会、シンポジウム等の案内に利用させていただいております。



申込期限

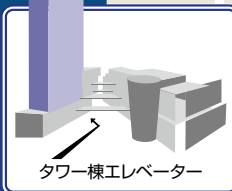
令和6年 **1月23日(火)**

お問い合わせ

香川大学 学術部 研究協力課

TEL:087-832-1317 FAX:087-832-1319

E-mail:kenkyust-h@kagawa-u.ac.jp



※タワー棟1階、ヨンデンプラザ斜め前の、シースルーエレベーターで4階までお越しください。降りた正面が入口です。

司会・座長：瀬戸内圏研究センター長 多田 邦尚

開会	冒頭挨拶 香川大学長 上田 夏生	13:30~13:40
基調講演 (45分)	『～福島第一原発事故から見えてきた 沿岸生態系における物質循環像～ 放射性セシウムは魚にどう移行したのか?』 帰山 秀樹 氏 (国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所)	13:40~14:25
質疑応答 (10分)	質疑応答	14:25~14:35
研究報告1 (30分)	『瀬戸内再生のための 「人×技術×海」 マッチング共創拠点 －共創の場形成支援プログラム－』 末永 慶寛 (香川大学創造工学部長/瀬戸内圏研究センター副センター長)	14:35~15:05
質疑応答 (5分)	質疑応答	15:05~15:10
休憩 (10分程度)	休憩	15:10~15:20
研究報告2 (30分)	『河川を浮遊する プラスチックごみに関する研究 －河川から海域への流出－』 石塚 正秀 (香川大学創造工学部教授/瀬戸内圏研究センター併任教員)	15:20~15:50
質疑応答 (5分)	質疑応答	15:50~15:55
研究報告3 (30分)	『多彩な観測項目によって見えてきた 播磨灘の水柱の窒素とリンの循環』 中國 正寿 (香川大学農学部博士研究員)	15:55~16:25
質疑応答 (5分)	質疑応答	16:25~16:30
総合討論 (15分)		16:30~16:45
閉会	閉会挨拶 香川大学研究担当理事 秋光 和也	16:45~16:55